

日本のボウリング史を彩る

レジェンドたちの肖像

File.1

中山律子

(2017年殿堂入り)

公益社団法人日本プロボウリング協会（JPBA）は2017年、協会創立50周年を記念して「日本プロボウリング殿堂」を設立、プロボウリング界の発展に貢献した選手・関係者を毎年表彰している。これまでに故人・脱会者を含む25人が殿堂入りしているが、本連載では、その栄えある各氏を順次紹介していく。



▲ボウリングの粋を超えて国民的な人気を博した中山律子プロ

空前絶後のブームに火をつけた “和製ジャンヌ・ダルク”

女子1期生（ライセンスNo.2）の中山律子プロは、1942年10月12日、群馬県生まれの鹿児島県育ち。子供のころから丈夫な体に恵まれ、中高生時代はバレーボールの選手として活躍。高校卒業後は、短期間ながら愛知県の実業団チームでもプレーしていた。

初めてボウリングと出会ったのは20歳のとき。持ち前の身体能力を生かして瞬く間に腕を上げ、68年には上京して東京タワーボウリングセンターに所属。翌69年6月に開催された第1回女子プロテストに合格し、晴れてプロボウラーの道を歩み始める。

同年9月の女子プロ誕生記念大会で初優勝を飾ると、翌70年3月の全日本女子プロ選手権も制して初代女王に。さらに8月にはNET（現・テレビ朝日）のボウリング番組『レディス・

チャレンジボウル』収録中の月例競技会優勝決定戦で、女子プロ初の公認パーフェクトを達成し、一躍“時の人”となる。

この快挙によって、ボウリング界には空前絶後のブームが到来。その火付け役として“和製ジャンヌ・ダルク”と称された中山プロは「花王フェザーシャンプー」のテレビCM出演を機に“さわやか律子さん”の愛称で国民的スターの座へと駆け上がっていった。

その後も同期の須田開代子プロ（ライセンスNo.1）らと激しいライバル闘争を演じながら、第一線を退くまでに積み上げたタイトル数は33。2004年からはJPBAの会長職を4期8年務め、業界の発展に尽力した。現在はJPBAとジャパンレディスボウリングクラブ（JLBC）でともに名誉会長となっている。

TOPICS

備藤達也さん、8カ月で全国738センター完全制覇



▲踏破メーターを手に備藤さん

選歴を機に勤めていた会社を計画退職し、昨年7月から国内の全センターを回って投球する「日本一周ボウリングの旅」を

続けていた埼玉県在住のアマチュアボウラー・備藤達也さん。その前代未聞の挑戦が3月2日、元同僚の待つラウンドワン高津店を最後に完結。備藤さんは全国737センターの完全制覇を自身のブログ「日本一周ボウリングの旅日記」で報告したが、後日、千葉県1センター（スポーツウエーブ鉄腕24稲毛長沼店）がリスト漏れしていたことが判明。3月26日に同店を訪れて2Gを投げ、お手製の“踏破メーター”の数字を「738」に上書きした（写真）。

備藤さんのボウリングキャリアは意外に浅く、3年前に地元

のアオキグランドボール（埼玉・川口市）で開催された「健康ボウリング教室」に参加したことが、本格的に投げ始めたきっかけとのこと。8年前に奥さんを病気で亡くし、2年前には一人息子が結婚して独立。そうした周辺状況の変化も、今回の挑戦に向かわせる遠因となったようだ。

旅の途中、亡き妻の月命日には必ずクルマを置いて自宅に戻り、墓参を済ませた後に旅を再開したという。

そんな備藤さんの“生の声”を、本誌では次号にて詳報。お楽しみに！

第19回 ABS300 本間由佳梨が100万円ゲット



▲ポイントはつかないが、今季に弾みがつきそうな優勝

（株）アメリカンボウリングサービスが主催する恒例のワンデー

トーナメント『ABS300クラブPRO-amトーナメント』が、3月10日（日）、東京・品川プリンスホテルボウリングセンターで、プロ50名、アマ84名が参加して行われた。

山田幸が準決勝最終Gの300を含む3018（12G）を打ってトップシードを獲得したのをはじめ、2位に本間由佳梨、3位に松尾星伽と、決勝ステップラダー進出4名中3名を女子プロが占め、4位によやく平井翔が入り、ハンデ（1G女子プロ10ピン、女子アマ15ピン）が与えられるとはいえ、

女子が優勢の大会となっていた。

3位決定戦で松尾を261：246で下した本間は、優勝決定戦でも山田を、5フレからのフォースで243：224と突き放し、初優勝を飾った。

ワンデートーナメントとしては破格の100万円を獲得した本間は「（山田）幸ちゃんの勢いがすごかったけど、決勝の練習ボールではあまり合っていないようだったので、チャンスがあるかなと思った。この優勝を弾みに…」と、公式戦での活躍を誓っていた。

INFORMATION

WOMEN'S ALL☆STAR 2020 の開催が決定！

北小金ボウル（千葉・松戸市）の開業50周年記念プロ

ジェクトとして、今年2月に行われた『JPBA WOMEN'S ALL☆STAR GAME』は、第1シードプロや永久シードプロら限定24名が出場、いきなり総当たりラウンドロビンで争われるという、女子ではかつてなかった競技方法も相まって、入場券も完売するほどの人気を博した。第2回大会の開催を期待する声も多かったが、それに応えるように、2020年の開催が正式決定した。2月1日（土）、2日

（日）の2日間、来季の女子開幕戦として行われる予定だ。

本紙リニューアル
ホームページも準備中

1983年に創刊した本紙も37年目に突入しましたが、より幅広い人に親しまれる新聞を目指し、4月号より紙面を全面カラー化したほか、内容も大幅にリニューアルして再スタートを切りました。

同時に、4月中のスタートを目指し、ホームページを準備中です。本紙と連動した企画のほか、ウェブサイトならではの独自のコンテンツも数

多く用意する予定です。是非アクセスしてみてください。
URL <https://b-jweb.com>



女性の方ならいつでもどなたでも…
入会金 ¥500 年会費 ¥5,000
ジャパンレディスボウリングクラブ
名誉会長 中山律子
会長 石井利枝

〒108-0073 東京都港区芝浦3-15-1
シティテラス田町304号
TEL 03-3452-1532
FAX 03-3452-1546



当センター専属プロボウラー
時本美津子プロ



当センター専属プロボウラー
鈴木理沙プロ



当センター専属プロボウラー
キム スルギプロ



当センター専属プロボウラー
名和 秋プロ



当センター専属プロボウラー
市原 竜太プロ



当センター専属プロボウラー
永野 ずばるプロ



当センター専属プロボウラー
江頭 善文プロ



当センター専属プロボウラー
宮村 美恵 支配人

最新の技術、豊富な経験を持つ
ドリラー6名在籍



JR横浜線・相模原駅徒歩2分
相模原パークレーンズ
<http://parklanes.jp/> TEL.042-755-1110

オンラインショップのパイオニア

今すぐアクセス 